

関東医学哲学・倫理学会

6月例会ご案内

関東医学哲学・倫理学会では、月例会を開催しております。現在は Zoom による遠隔形式です。今年度の年間テーマは、「人間の尊厳と医療のあり方～パンデミックや災害等における倫理～」です。毎回、各分野の専門家による幅広い発表や議論が行われています。ご関心・ご興味がありましたら、どなたでも聴講自由です（参加費無料）。参加をご希望の方は、事務局の下記アドレスに「参加希望」と記してメールをお送りください。後ほど、参加のためのパスコード等を返信致します。

今回は中永隆子先生をお迎えし、「安楽死」に関して、ご発表して頂きます。

発表者： 中永隆子 先生（帝京大学）

演題： 「人生会議」は「デスハラ」なのか？ 生きる権利と死ぬ権利

司会者： 江黒忠彦 先生（関東医学哲学・倫理学会会長、元帝京平成大学）

日時： 6/13（日）13:00～15:30 Zoom による遠隔形式

事務局アドレス： asakura@toyo.jp

（上記アドレスは、「@」が全角表示してありますので、メールを送信する際は、「@」を半角に変えてから送信してください。）

発表要旨：

本発表では、5月15日に行った、第47回保健医療社会学会円卓会議（生きる権利—医療に関するサービス・研究・教育に当事者・市民参画が必要な理由—企画者：細田満和子）での演者による報告ならびに質疑応答を紹介する。1. 「安楽死」を肯定する二人の患者、写真家・多発性骨髄腫患者の幡野広志氏と、韓国語通訳者で多系統萎縮症のNHK「彼女は安楽死を選んだ」に登場した小島ミナ氏の事例を4分割法で比較分析、2. 帝京の学生の「安楽死」肯定意見、3. 安楽死ディーバートの賛成・反対を考えるロジックから「人生会議」はデスハラなのか？生きる権利と死ぬ権利について、フロアー参加者の皆様と意見交換を行いたい。

関東医学哲学・倫理学会 HP 【 <http://pe-med.sakura.ne.jp/kanto/> 】